

「 ぼくのママ 」

ぼくは 生まれたときから ママのことずうっと 知ってるよ ほんとだよ？

ママは ぼくとクルマであそぶのがスキなんだあ
ぼくもスキだよ？ ママがちゃあんと おかたづけをするならね！
おもちゃばこに キッチンとならべておかなくちゃ！
「ブーン ブーン！」

ぼくのママは いつもおしゃれさん

ママはたまあに口紅くちべにをつけるの

ぼくもちょっとつけてみたいなあ

ママはいいよって言いってたけどね

でもね たまあに ママのおようふくをかわいくしようとするんだけどね
それはダメみたい

ママとぼくは いつもいっしょにおかいもの

「ごはん おやさい くだもの… かいわすれはない？」

ぼくは おにもつをはこぶのが とってもじょうずなんだよ！

おかたづけは もおっとじょうず！

ほら！あつというまに ポテチのふくろがからっぽだ！

おそらがはれてるとブランコにのるの

だれがいちばんたかいかなあ

もちろん すこおしだけ たすけてあげるんだ

じゃないと ぜったいにママは ぼくにかてないもんね！

「もっとたかく！！」

お山^{やま}にのぼるのが ダイスキ！

めいっばい はやく くものうえにのぼるんだ！
そして てっぺんにつくと ママが ちゅーしてくれるの
ほんとはね ぼくはママをうごかせるんだよ
「パッカ パッカ！ パッカ パッカ！
ママはやーい！ ママはやあし！」

ぼくはかくれんぼがじょうず！
だあれも ぼくを みつけられないんだよ
ママでもね！
だから いきなり おっきなこえをだしてみるの
「ばあー！！！！」
ママが とってもびっくりするのが おもしろいんだあ

ぼくは はっぱに お水^{みず}をあげるのがスキ！

でもふしぎ いつもお水^{みず}をあげると 雨^{あめ}までふってきちゃうんだ！

ぼくのママは あんまりおこらないんだ
だけどね ほんとうにママがおこるときは なんでおこってるのか おしえてく
れるの
そのおはなしが すごおくながいんだあ

ぼくは いつか おそらをとびたい！
ママは やりたいことは なんでもできるって言うけど ほんとうなんだ！
ほら！ぼく もう けっこうじょうずでしょう？
でもママは ぼくのをはなしてくれないの

ねるとき ママはぼくの スポンのお星^{ほし}さまを おそらにかえしてくれるの

そしたら ママをぎゅっとして 言^いうんだ

「お星^{ほし}さま おやすみなさい またあした！」